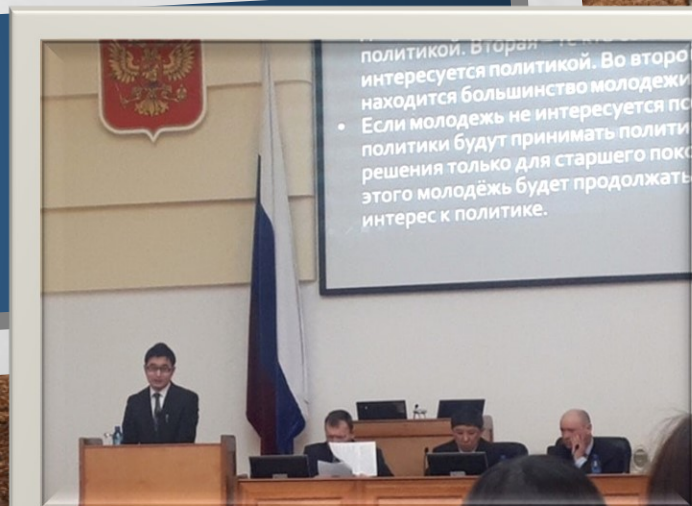


多民族国家ロシアの 多様な価値観と魅力

元・次期ブリヤート国立大学東洋学院日本語講師 向井大樹



略歴

2013年3月 千葉県立 幕張総合高等学校 卒業

2018年3月 早稲田大学 教育学部 国語国文学科 卒業

2018年4月 早稲田大学 大学院 日本語教育研究科
修士課程 進学 (**2018年9月～2020年8月まで休学**)

2018年8月 バンザロフ記念 ブリヤート国立大学 東洋学院 日本語講師
(**～2020年7月まで**)

2022年3月 早稲田大学 大学院 日本語教育研究科 修士課程 修了

2022年夏～ バンザロフ記念 ブリヤート国立大学 東洋学院 日本語講師 (再就職予定)



ロシアとの関わり

高校生の頃、世界史を選択し、中央アジアの歴史に興味を持つ。



中央アジアで通じるロシア語を学ぶ必要性を感じる。



大学入学時(**2014**年)、第**2**外国語でロシア語を選択。



2016年**2**月、短期留学で初めてロシアへ。ロシアの魅力に惹かれる。

その後、**2018**年**3**月までに短期留学**1**回、旅行で**1**回渡航。



2018年**8**月、日露青年交流センター派遣の日本語講師としてウラン・ウデへ。

ロシアの概要



正式名称:ロシア連邦

面積:約**1,710**万平方キロメートル
(日本の約**45**倍、アメリカの約**2**倍)

人口:**1億4547万8097**人(2022年)

首都:モスクワ

民族:ロシア人、...

宗教:ロシア正教、...



ロシアには、ロシア人以外にも多くの民族が暮らす。
その数はいくらだろうか。



ロシア人

2010年の統計で、約**1億1100万人**



国籍的には「ロシア人」。外国人含めて民族数は190以上。

ロシアの民族別人口(2010)

1位	...	ロシア人	1億1101万6896人
2位	...	タタール人	531万649人
3位	...	ウクライナ人	192万2798人
4位	...	バシキール人	158万4554人
5位	...	チュヴァシ人	143万5872人
6位	...	チェチェン人	143万1360人
7位	...	アルメニア人	118万2388人
8位	...	アヴァール人	91万2090人
9位	...	モルドヴィン人	74万4237人
10位	...	カザフ人	64万7732人



これから**6**枚の写真をお見せします。

ロシアで撮影された写真でないものが**1枚だけ**混じっています。

その**1**枚はどれか、考えてみてください。

1



2



3



4

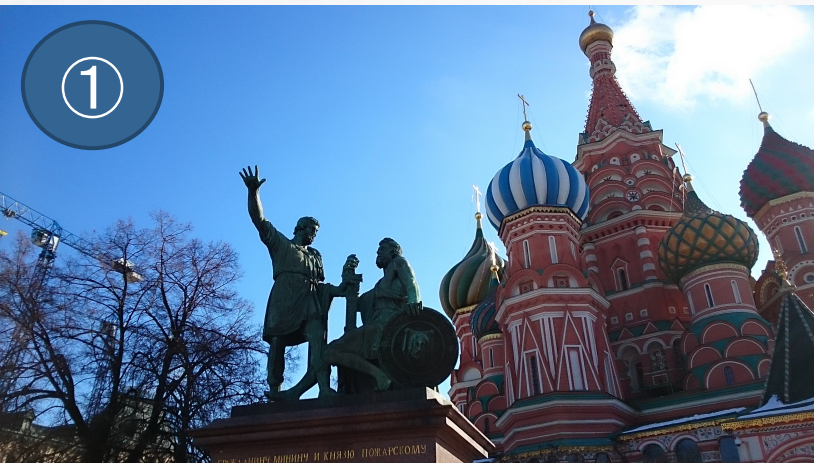


5





1



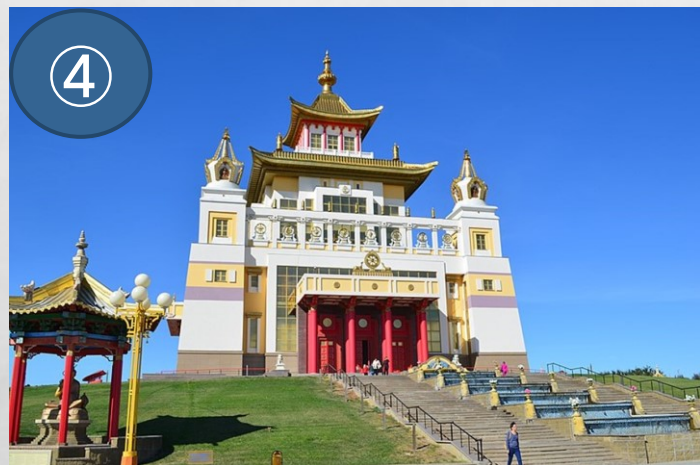
2



3



4

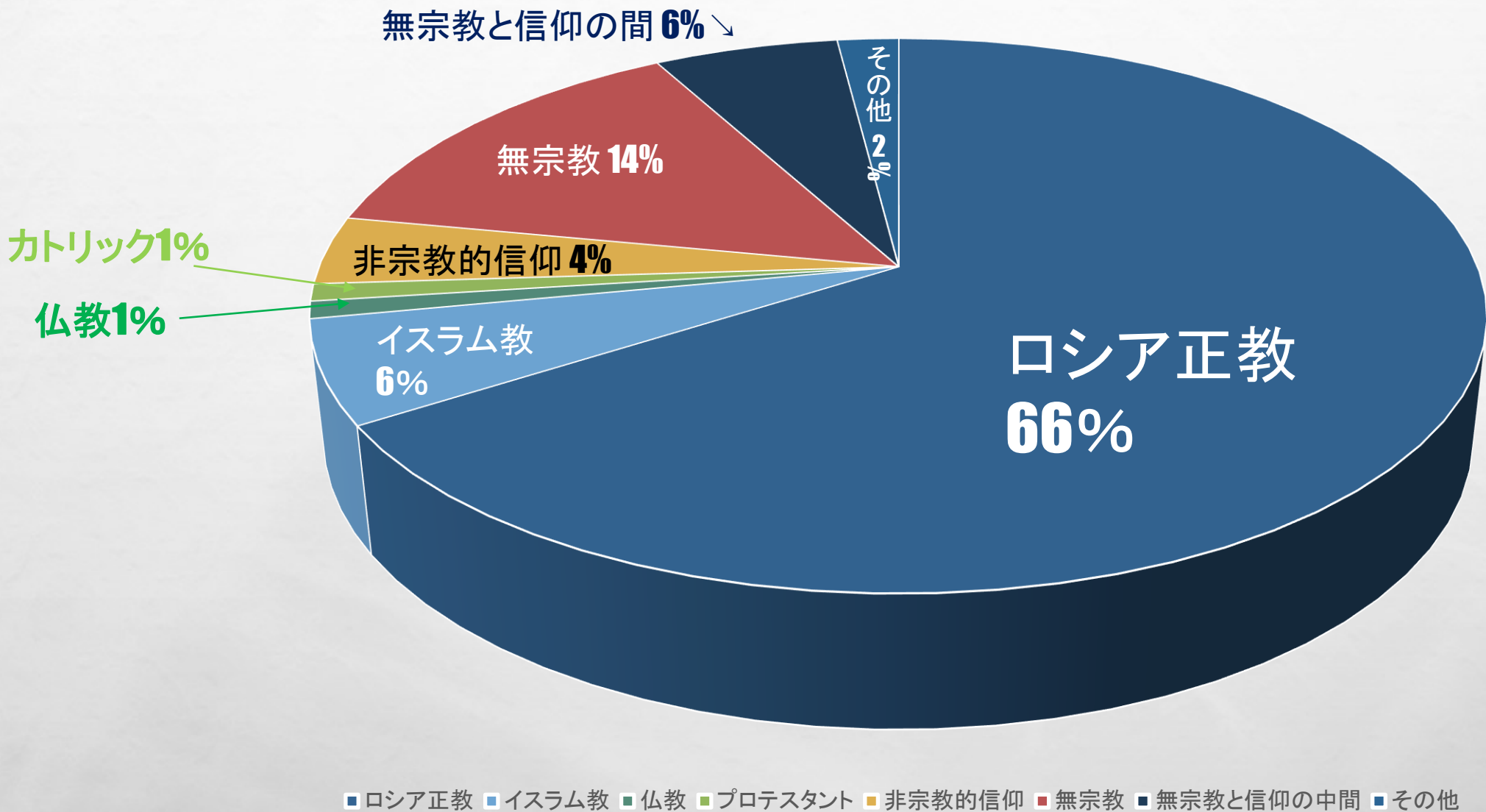


5



6





ソ連時代は宗教が弾圧された時期もあったが、現在は様々な宗教がロシアで積極的に活動している。

アの中の共和国

- 緑は基幹民族が**50%以上**、赤は**75%以上**。

ロシアの中の共和国

ロシアの中には**22**(国際的には**21**)の共和国(**республика**)と呼ばれる地方行政組織がある。

- 独自の**公用語、憲法、議会**を持つことができる。
- 共和国のトップは「**首長(глава)**」と呼ばれ、連邦政府から任命される。
- **外交権は持たず**、ロシア連邦政府が保持する。
- ○○共和国 の○○の部分には共和国を自治する民族名が入る。その民族は**基幹民族**と呼ばれる。 ※ダゲスタン共和国は例外。

チェチェン共和国



面積：約**15,300**km²（岩手県より少し小さい）

人口：約**150**万人（**2021**年**7**月）

首都：グロズヌイ

民族：チェチェン人**95.3%**、ロシア人**1.9%**など
（**2010**年）

宗教：ほとんどがイスラム教





12～13世紀ごろ・・・民族として成立か。

16世紀ごろ

イスラム教が流入。(主要な宗教にはならず。)
北から進出してきたロシア人と接触。

16世紀後半～

ロシア人コサックとチェチェン人の摩擦が発生。
一方で平和的な交流が行われたことも。

18世紀後半～

ロシア帝国の進出と、進出に対する抵抗が激化。
1780年代から、ロシアに抵抗するためのイスラム
教の運動が活発化。イスラム教が一気に普及。

Теченцы
Tschetschenzen



19世紀初頭～1828年

ロシア帝国がカフカースの大半を征服。

1829～1859年

周辺の民族とともにイマーム国を結成しロシアに抵抗。

1944年2月23日～1957年

ナチス・ドイツに協力した疑いをかけられ、中央アジアに強制移住。



1991年

ソ連崩壊。チェチエン共和国は分離独立を主張。

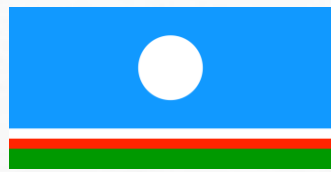
1994年12月～1996年8月・・・第一次チェチエン紛争

1999年10月～2000年5月・・・第二次チェチエン紛争

2010年代～

共和国内は安定し、莫大な投資を受け経済成長へ。

サハ共和国



面積：約**310万**km²(アルゼンチンより大きく、インドよりやや小さい)

人口：約**99万人**(**2022年**)

首都：ヤクーツク

民族：サハ人**49.9%**、ロシア人**37.8%**、
エヴェンキ人**2.2%**、ウクライナ人**2.2%**など
(**2010年**)

宗教：ロシア正教、シャーマニズムなど





12～14世紀ごろまで・・・バイカル湖周辺に暮らす。

12～14世紀にかけて・・・バイカル湖から東北方面に民族移動。

14世紀～**15**世紀

移動した先で現地の先住民族と混血し、サハ人が民族として成立。

17世紀前半・・・ロシア人がサハ人の暮らす地域に進出・接触。

1632年

現在のヤクーツク付近にロシアが要塞を建築。**1638**年にサハ人は正式にロシアの支配下に。

19世紀・・・ロシア人の手によって工業が発展。

1991年・・・ソ連崩壊に伴い、サハ人はヤクート共和国の独立を宣言。
ただ、国内にはロシア人も多く、断念。





「イスイアフ(Ысыях)」と呼ばれる夏至祭にて、トータルを囲んでいる様子。
乗馬や伝統相撲、踊りなどのプログラムがある。
夏至の日の後の週末に2日かけ開催。
毎年数万人が来場。伝承によれば約1500年前から行われている。

サハ人の伝統住居「バラガン(Балаҕан)」。
丸太と粘土などを組み合わせて作られている。
－60度を下回るサハ人の暮らす地域の気候
にも耐えられるほどの代物。



ブリヤート共和国



ロシア
Russian Federation

モンゴル
Mongolia

日本
Japan

ブリヤート共和国
Buryat Republic

★ ウラン・ウデ
Улан-Удэ



面積: 約**35万1300**km²
(日本: 約**37万8000**km²)

人口: **98万1487**人(2022年)
(千葉市: **97万4951**人)

民族(2010年の調査):
ロシア人...**66.1%**
ブリヤート人...**30%**
ウクライナ人...**0.6%**
その他...**3.3%**

バイカル湖



ブリヤート人(Буряты)

ロシアでの総人口は**46万1389**人。
28万6839人がブリヤート共和国に
暮らす。(2010年の情報)

モンゴル系の民族。

主にチベット仏教やシャーマニズム
を信仰。



ブリヤート共和国における多民族共生

- 教育はロシア人やブリヤート人といった民族で分けず、同じ学校で行う。
→一方で、ロシア人と同じ教育を受けることで文化が失われる懸念も。
- 仕事や住居も、ブリヤート共和国内ではロシア人とブリヤート人、その他の民族で区別や差別はない。
- 宗教は人それぞれ。多くのロシア人は正教徒だが、仏教徒もいる。ブリヤート人は仏教徒が多い。
- ブリヤート語やブリヤート文化を教える
「アマル・メンデ (**Амар Мэндэ**)」という機関もある。





国立大学や政府機関などの公的機関では、看板には必ずブリヤート語も併記されている。

ただ、ブリヤート語が話せるブリヤート人は減少傾向にあり、若い人では話せない人も多い。

今後、ロシア人の比率が高い共和国では、民族独自の文化をどのように守っていくかが重要だと言える。





ブリヤート人、ロシア人問わず、ブリヤート料理は比較的よく食べられている。

ブリヤート料理はお肉を使った料理が中心で、野菜類は少ない。モンゴル料理と似ている。





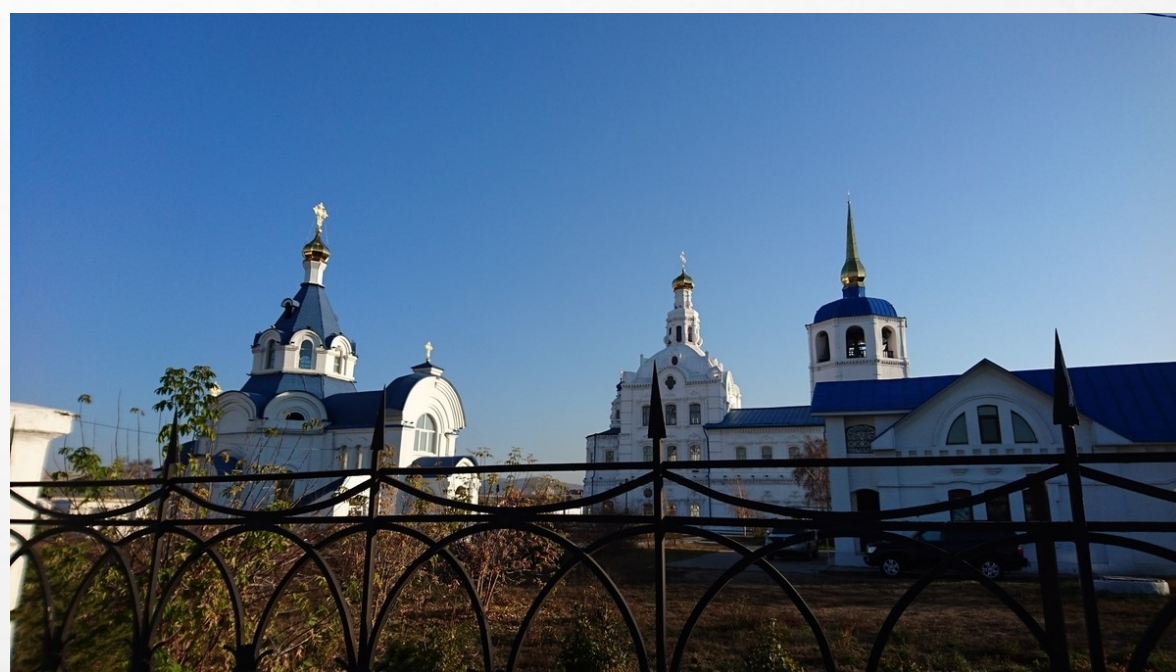
宗教面では、チベット仏教を信じる
ブリヤート人が多い。

お寺はソ連崩壊後に建てられたものが中心。
郊外には古いお寺もある。
現在もその数は増え続けている。

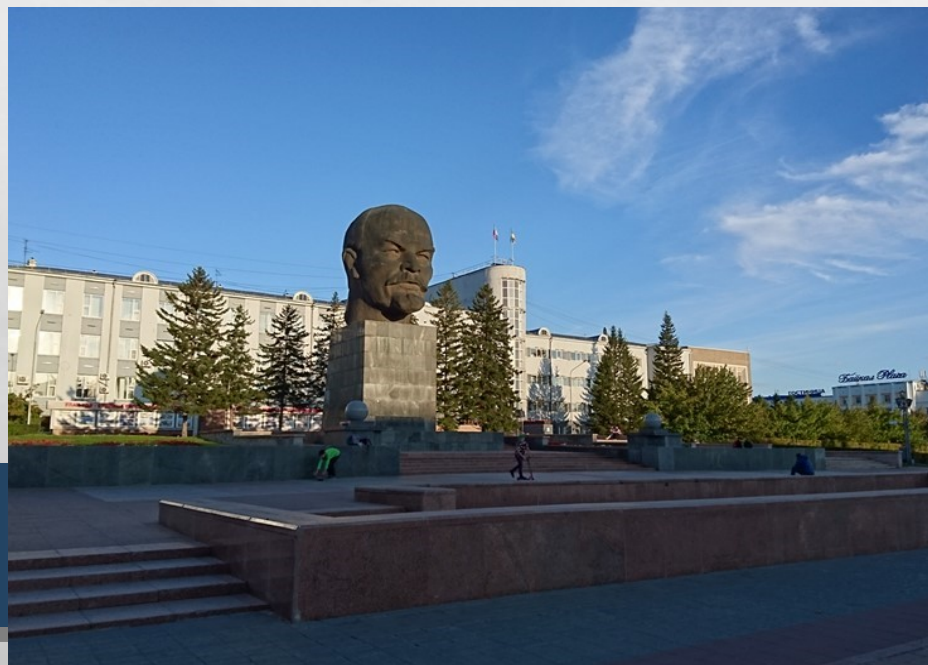
ブリヤート人の伝統的な祝日や行事も共和国
の行事として現在も引き続き行われている。
右の写真は**Сурхарбан**(スルハルバン)と呼
ばれる各種伝統競技の大会。
旧正月は共和国内のみ、ロシア人も含めて
全ての人が祝日となる。







ウラン・ウデ



- ロシアの中には、ロシア人とは別の歴史を歩み、異なる文化を持った民族も多く暮らしている。
- 現在、「〇〇共和国」という枠の中では、ロシア人との共存ができている場合が多い。ただ、モスクワなどの大都市部では、差別が残っているのも事実。（非スラヴ系の民族は家を借りにくいなど）
- ロシア人の比率が高い共和国では、民族の伝統をいかに残していくか考えることも大切。

ありがとうございました！

